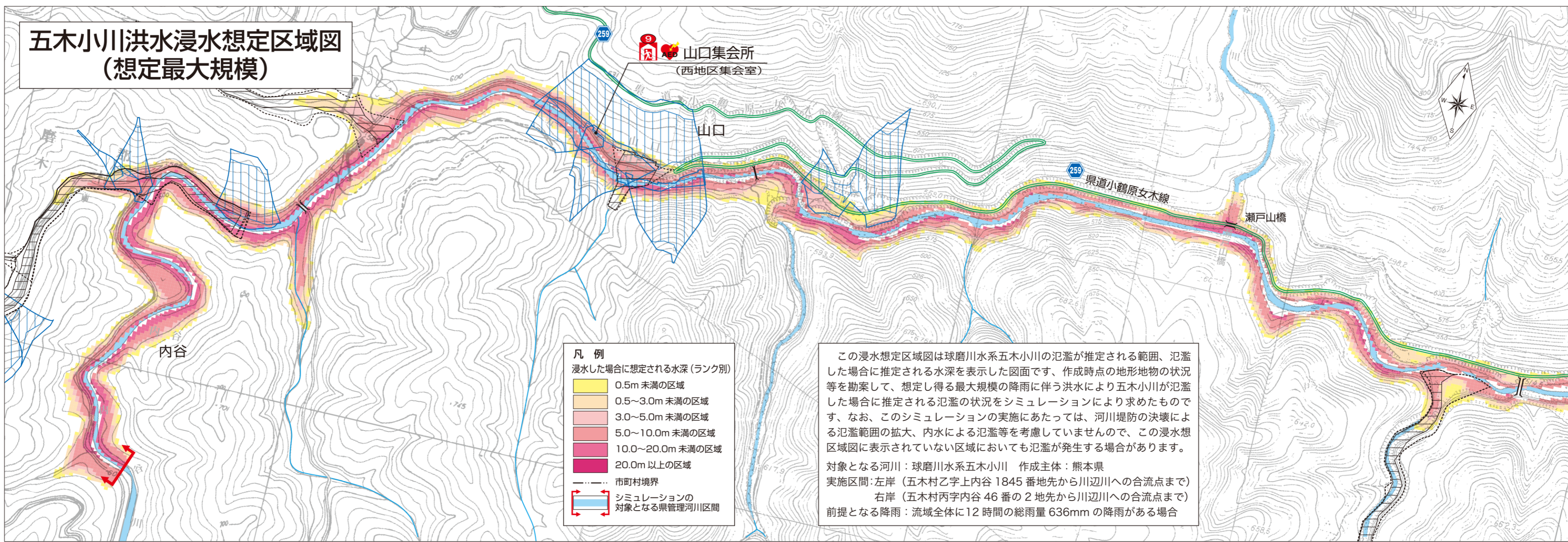


五木小川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

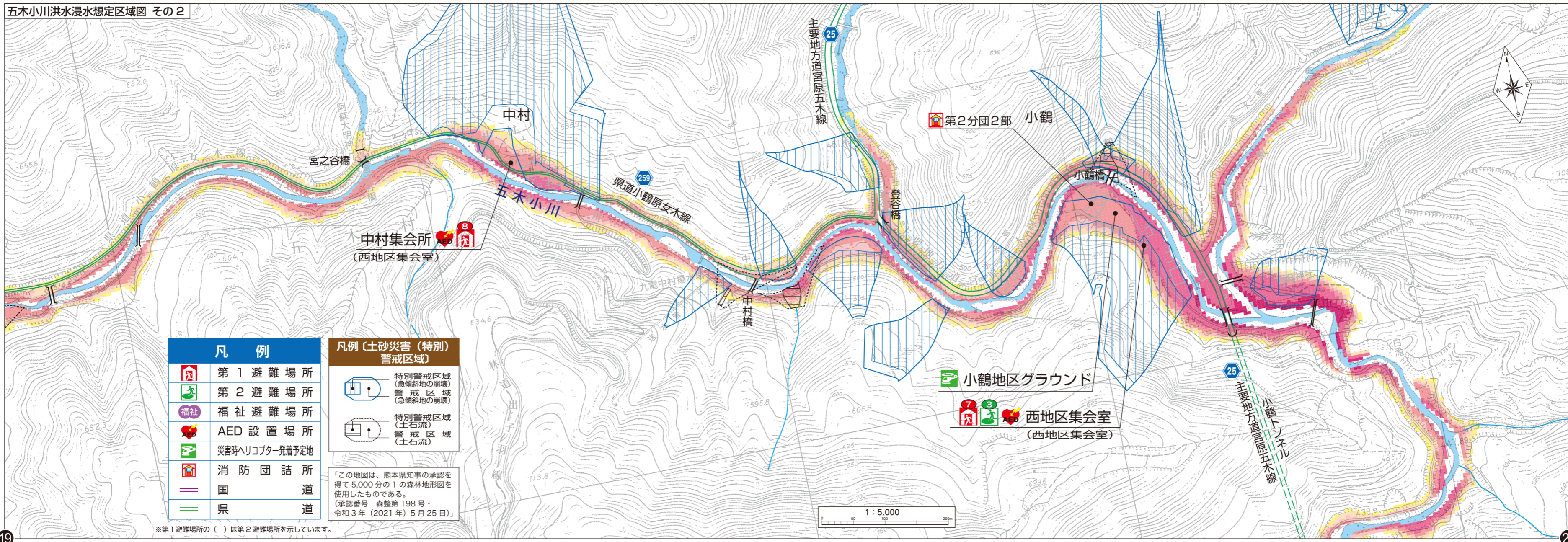


凡例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m 未満の区域
- 0.5~3.0m 未満の区域
- 3.0~5.0m 未満の区域
- 5.0~10.0m 未満の区域
- 10.0~20.0m 未満の区域
- 20.0m 以上の区域
- 市町村境界
- シミュレーションの対象となる県管理河川区間

この浸水想定区域図は球磨川水系五木小川の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です、作成時点の地形地物の状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により五木小川が氾濫した場合に推定される氾濫の状況をシミュレーションにより求めたものです、なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があります。

対象となる河川：球磨川水系五木小川 作成主体：熊本県
 実施区間：左岸（五木村乙字上内谷 1845 番地先から川辺川への合流点まで）
 右岸（五木村丙字内谷 46 番の 2 地先から川辺川への合流点まで）
 前提となる降雨：流域全体に 12 時間の総雨量 636mm の降雨がある場合



凡例

- 第1避難場所
- 第2避難場所
- 福祉避難場所
- AED設置場所
- 災害時ヘリコプター発着予定地
- 消防団詰所
- 国道
- 県道

凡例(土砂災害(特別)警戒区域)

- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 特別警戒区域(土石流)警戒区域(土石流)

「この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を使用したものである。(承認番号 森整第 198 号・令和 3 年(2021 年) 5 月 25 日)」

※第1避難場所の()は第2避難場所を示しています。